



（ 合併10周年記念式展
新たな一歩 踏み出せ未来へ ）

5月16日、旧袋井市と旧浅羽町が合併して10周年を記念する式典がメロープラザにて開催されました。



（ 総合健康センターがオープン ）

5月10日、袋井市総合健康センターが旧袋井市民病院にオープンしました。同所は、市民の健康を支える保健、医療、介護の拠点として整備するものです。これに伴い、袋井市社会福祉協議会、袋井保健センターが入所しました。



（ 全国メロンサミットinふくろい ）

6月27日、28日、国内初となるメロンサミットが全国からメロン産地が集まり開催されました。イベントのあったエコパには、当初予想を上回る4万人が訪れました。今年は銚田市で開催されます。



（ 活人剣再建される
宮田亮平東京藝大学長が制作 ）

9月26日、可睡齋の活人剣が再建され、竣工式が行われました。活人剣は日清講和条約の記念碑として建立されたもので、清国全権大臣李鴻章の「医者には剣は必要か」との問いに対し、治療にあたった陸軍軍医総監佐藤進が「これは人を活かすための剣」と答えた逸話から来ています。今回の再建事業では、東京藝大学長の宮田亮平氏が剣の制作にあたりました。



（ みつかわ夢の丘墓園が開園 ）

三川地区に建設が進められていた「みつかわ夢の丘公園」が開園し、墓所の分譲を始めました。今回分譲されるのは、和式墓所238、芝生墓所134、壁式墓所78の計450基となります。これから順次整備を進め、全体では2300基の墓所と納骨堂を整備されます。



（ 静橋に照姫椿像 ）

3月13日、静橋に新しいブロンズ像「照姫椿」が完成し、除幕式が行われました。制作したのは渡辺憲二氏、油山寺に伝わる伝説をもとに姉妹愛を表現しています。市では彫刻のあるまちづくりを進めています。



（ 「袋井幸浦の丘」再生プロジェクト
防潮堤建設事業始まる ）

浅羽海岸の防潮堤をかさ上げする全長5.35Kmの事業のうち、うち当面4Km、レベル2（100年に1度）の津波予想高10mに対し標高12mの防潮堤を建設します。埋め立ての土には、豊沢工業団地の造成に伴う残土もあてられます。工期は平成30年の完成、最大12億円の債務負担行為を行います。



（ 完成間近の中新田命山
湊西命山も工事始まる ）

津波避難施設として建設される中新田、湊西地区の命山の工事が進められています。中新田命山は約400人、湊西命山は約300人の収容が可能で、いずれも国道150号線沿いの南側に建設されます。東同笠・大野地区の命山が完成すると計4つの津波避難施設が完成します。



（ 山科東工業団地 完売 ）

山科東工業団地のB区画に（株）高雄工業の進出が決まり、工場建設が始まりました。同社は輸送機械部品メーカーで、本社は愛知県弥富市です。平成20年から分譲を開始した同工業団地は、これで全て完売となりました。



（ 村松西排水路の工事着工 ）

沖之川流域の治水対策の一環として、村松西排水路の工事が始まりました。この工事は、同排水路が沖之川に合流する地点を改良し、排水機能を向上させるものです。次年度からは鷺巣川の拡幅改良工事、久野城址南遊水池の工事に入る計画となっています。